

基本事業コード	16020001	担当課所名	水道部工務課
基本事業名	送配水管等布設及び布設替事業		
総合振興計画の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり
	施策	2	上下道の整備
			総合振興計画 71 ページ

基本事業の概要	送配水管等の布設及び布設替工事を実施することで、安定給水の確保とバックアップ体制を構築する。また、水道管路データを的確にシステムで管理し、的確な情報を提供する。
---------	--

対象	水道使用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	安全な水を安定して給水する

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
送配水管布設及び布設替工事の実施延長	工事延長	m	3,076.2	2,266.	1,433.		
鉛製給水管更新率	布設替件数/全体計画件数	%	44.88	48.4	62.54	70.	
システム検索による窓口対応時間の短縮	窓口対応時間	分	10.	10.	10.	10.	
石綿セメント管更新率	布設替延長/全体計画延長	%	56.3	58.2	58.5		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	送配水管布設及び布設替事業	指標 工事実施延長			2,266.	m	B	○
		185,886,750	75,881,400	157,296,000	1,433.		拡大 拡充	
02	鉛給水管布設替事業	指標 布設替実施件数			40.	件	A	
		6,296,850	0	6,000,000	200.		維持 維持	
03	水道施設情報管理事業	指標 データ更新率			100.	%	A	
		5,355,000	5,281,500	7,119,000	100.		維持 維持	
04	石綿セメント管更新事業	指標 工事実施延長			1,667.	m	B	◎
		230,713,350	148,379,700	171,726,000	1,879.		拡大 拡充	
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		571,704,000	237,769,000	
事業費の合計(円) (A)		428,251,950	229,542,600	342,141,000
財源内訳	国庫支出金	30,000,000		
	県支出金			
	地方債	158,000,000	158,300,000	236,900,000
	その他特定	25,000,000	13,392,750	33,000,000
	一般財源	215,251,950	57,849,850	72,241,000
正規職員	業務量	7.10人	7.40人	
	人件費(B)	42,184,054	44,551,707	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		470,436,004	274,094,307	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	安全な水を安定給水する事が、本事業の目的であり、意図、設定は適切である。また、指標として「鉛製給水管及び石綿セメント管の更新率」を設定しているが、予算に制約のある中で工事施工を行っている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 本事業については、老朽管の布設替工事等であるので、本事業の目的である「安全な水を安定給水する。」を目指し、今後も継続して事業を推進する事が重要である。枝番号03の水道施設情報管理事業については、管路情報をGIS化したことで、お客様に対して窓口等での相談を効率的に行うことができる。データの更新作業は毎年行っており、特に問題はない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 枝番号01・02事業については、設計業務を職員が行っている。石綿セメント管更新事業については、近年大口径管の更新工事に着手しているため、設計業務に必要な調査を外部へ委託している。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 石綿セメント管については、24年度末現在における整備済延長は73,721mで進捗率は58.5%である。また、石綿管以外の経年老朽管についても、漏水や赤錆の発生など、たびたび住民の方々へ迷惑をかけている。したがって、安心安全な水道水の供給を確保したいため、早急に布設替を実施する必要がある。特に、石綿管については、更新計画を平成24年2月に策定し、限られた予算の中で漏水多発区域を優先して布設替を実施している。このような状況から、重点化する事業として選択した。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>水道管の布設替工事については、今年度も引き続き関係機関との調整及び補助金等他会計からの負担を伴う工事を優先的に実施し、経費の削減等を積極的に努めている。</p> <p>水道管の布設替工事については、毎年水道部と関連する工事を担当する下水道課、道路課等調整会議を行い、各事業の確認や試掘調査を行うなど、事前協議を綿密に行う。</p> <p>情報を共有化し、同時施工や現場管理が容易になることから無駄がなく、最小の経費で最大の効果が得られた。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>秩父地域水道広域化の進捗状況により、今後の更新事業の実施に繋がる。また、水道料金の改定も積極的に取り組むよう努めたい。</p> <p>石綿管更新事業及び老朽管布設替事業については、現在の水道の財政状況では困難なため一般会計からの充当、水道料金の値上げを含め検討していかなければならない。</p> <p>現在、秩父地域水道広域化の組織化から始めており、平成25年6月14日には秩父地域広域化第1回総務委員会を開催した。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>現在の財政状況から、今後の実施に向けて一般会計からの充当等、長期的な予算の確保及び調整が必要とされる。</p> <p>各水道事務所で導入している水道施設管理システムの統合することにより、水道施設情報の一元化が図れる。しかし、導入システムの互換性がなく、一元化するには財源確保が課題となる。</p> <p>現状では財政が困難なため、実施出来なかった。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 厳しい財源の中で、石綿セメント管等を更新することにより、住民の方々の危機管理リスクが軽減でき、有収率の向上に繋がる。今後は、安定した水道水の供給の確保のため、財源の確保が急務とされる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	山野 雅生	電話番号 0494-25-5222
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	16020002	担当課所名	水道部工務課
基本事業名	漏水対策事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり
	施策	2	上水道の整備
			総合振興計画 71 ページ

基本事業の概要	安定した水の供給を続けるため、漏水調査による漏水の早期発見と修繕及び水道管破損時の緊急の復旧作業を行い有収率の向上を図る
---------	--

対象	漏水箇所
意図 (対象をどのようにしたいか)	早期発見、修繕することで有収率の向上を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
有収率	有収水量/送配水量	%	82.4	85.	73.6	85.	
漏水調査による漏水箇所発見件数		件	132.	-	145.	150.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			24年度			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	緊急漏水修繕事業	指標 漏水修繕件数				件	A	◎
		50,048,632	54,164,902	53,000,000	690.		維持 維持	
02	漏水調査業務委託事業	指標 漏水調査延長				km	A	
		10,626,000	10,447,500	11,060,000	126.5		維持 維持	
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		62,830,000	65,325,000
事業費の合計(円) (A)		60,674,632	64,612,402
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
正規職員	地方債		
	その他特定		
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	60,674,632	64,612,402
	業務量	3.20人	3.40人
人件費(B)		18,955,430	20,469,703
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		79,630,062	85,082,105

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、配給水管の漏水を調査・修繕し、有収率の向上及び水道水の安定供給を図ることが目的であり、有収率を基本事業指標に設定した。23年度から24年度にかけての有収率は8.8%減少し、目標値を達成できなかった。原因として考えられることは、事業費の縮小により老朽化した配水管の更新工事が計画通りに進捗しないことや、個人宅の給水管についても老朽化が進んでいる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ この事業を推進することにより、有収率を向上させ結果的に水道水の安定供給が図られる。また、地中漏水箇所を調査委託により早期発見することにより、さらに有収率を向上させることができるため、今後も継続して事業を進めていく必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 緊急漏水修繕の対応は、工務課職員が断水広報及び給水車による給水活動を行い、当番の市内指定工事業者へ復旧作業を依頼し、早急な対応ができる体制が整えられている。漏水調査業務は外部へ依頼し実施している。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 水道管の緊急漏水修繕等が発生した場合には、早急に復旧作業を行うことが必要であるため、今後においても、漏水調査による漏水早期発見と、それに伴う修繕作業を増やす必要があるため重点化する事業として選択した。また、配水管の布設替えと共に重要な施策として積極的に漏水防止対策に取り組む必要がある。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 漏水の早期発見と住民からの通報の受入体制を充実させるため、市報・ホームページを活用し周知させる。  毎年計画的に漏水調査業務委託を発注し、水道漏水の早期発見のため、漏水調査を実施する。なお、住民からの通報にに対し、丁寧な受け入れをして、次回へ繋がるよう職員の対応意識レベルを高めている
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	配水管及び給水管の老朽化対策としては計画的な更新事業が望ましいが、現状では長期的な更新計画になりつつあるが、事業の短縮が出来るよう財源確保に努めたい。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 素早い現場復旧作業並びに住民へ状況について広報をすることにより、地域住民に対する不安や不快感の解消が図られる。また、水道水の無駄な漏水を抑えることができる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	山野 雅生	電話番号 0494-25-5222
----------------------	-------	----------------------